



2004年度 中間決算説明資料

2004年10月



2004年度 連結中間決算の概要

(億円)

	'04中間期	'03中間期	増減	増減率
受注高	10,862	12,335	1,473	11.9%
売上高	11,263	10,000	1,263	12.6%
営業損益	40	105	146	-
経常損益	65	94	28	-
特別損益	188	20	167	-
税引前損益	253	114	139	-
当期損益	215	104	110	-

中間期業績比較 (営業損益・経常損益)

(損益表示: 億円)

	(A)2004年度中間期		(B)2003年度中間期		増減(A)-(B)
		(売上高比率)		(売上高比率)	
売上高	11,263		10,000		+ 1,263
粗利益	1,296	(12%)	1,394	(14%)	98
営業損益	40	(0.3%)	105	(1.0%)	146
営業外 損益	為替差損	2	139		+ 136
	金融収支	25	35		+ 9
	その他	3	25		+ 28
計	24	(-)	199	(-)	+ 174
経常損益	65	(0.5%)	94	(0.9%)	+ 28

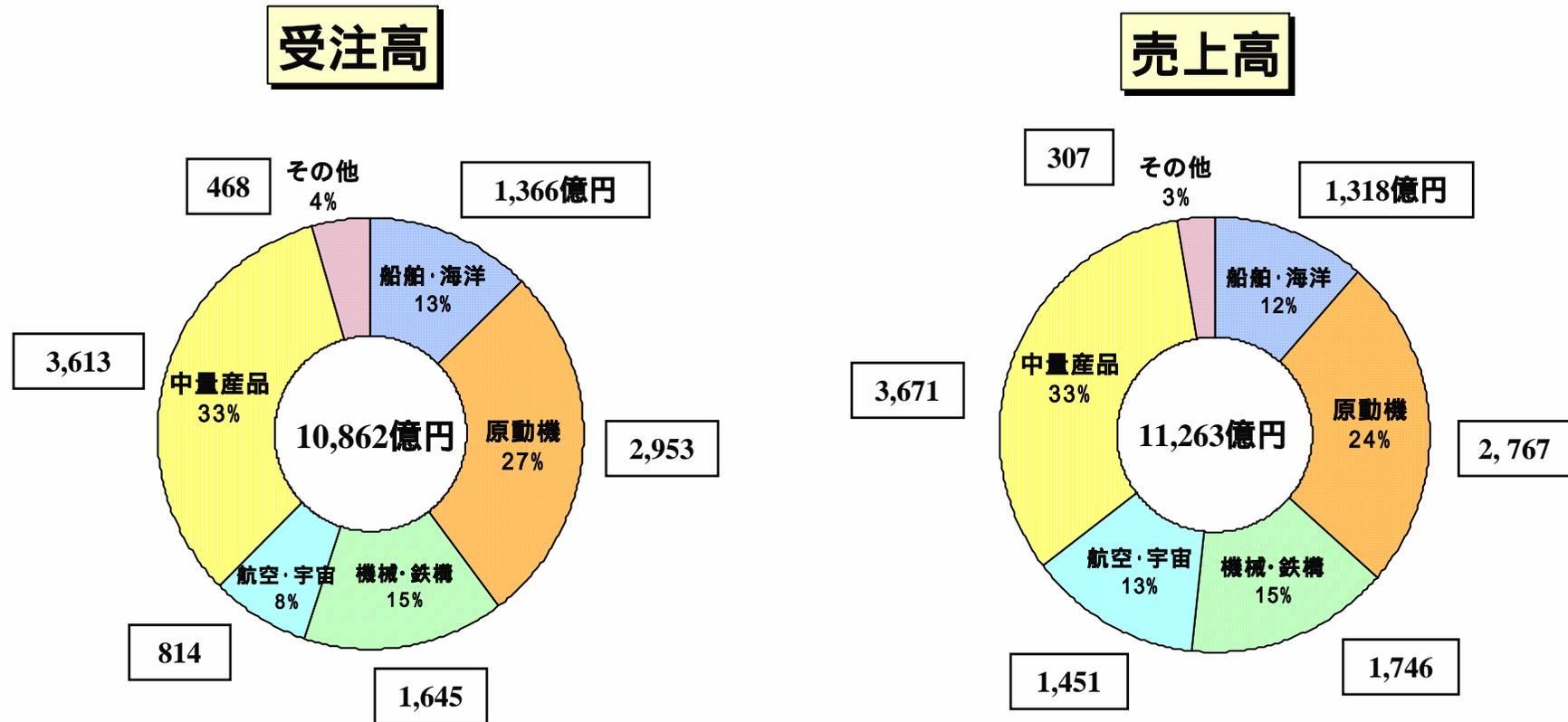
営業損益 増減要因 146億円

- ・為替の影響 117億円
ドル@¥119.1('03.中間期) @¥110.7('04.中間期) 他
- ・一時金・支給対象期間変更による影響 135億円
 - ・販売費・一般管理費への影響額 38億円
 - ・売上原価への影響額 97億円
- ・売上並びに売上原価変動等による影響 +106億円
 - ・売上変動による粗利益増加 +149億円
 - ・粗利率低下による影響 他 43億円

経常損益 増減要因 + 28億円

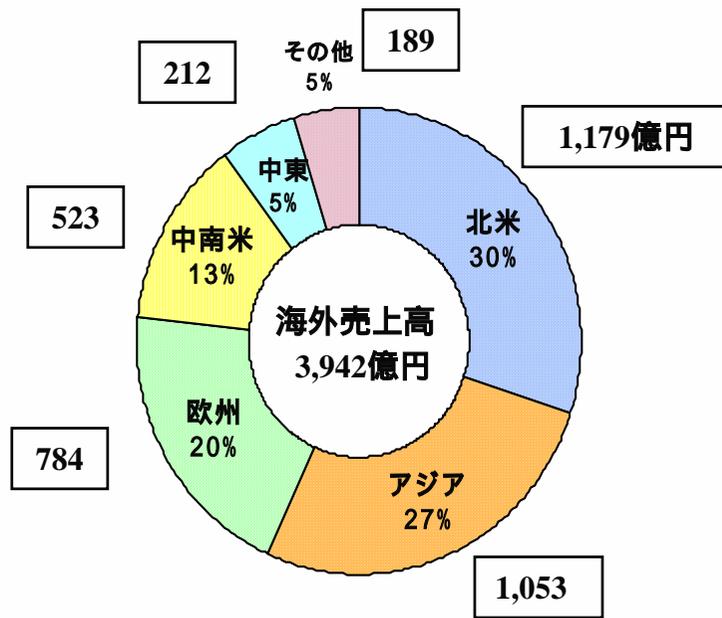
- ・営業利益減少 146億円 (左記の通り)
- ・営業外損益 + 174億円
 - ・為替差損益 +136 億円
(参考)
 ドル@¥105.69('03.期末日) @¥111.05('04.中間期末日)
 @¥120.20('02.期末日) @¥111.25('03.中間期末日)
 - ・金融収支(支払利息減少 他) + 9億円
 - ・その他 +29億円

連結セグメント別の状況(2004年度中間期実績)

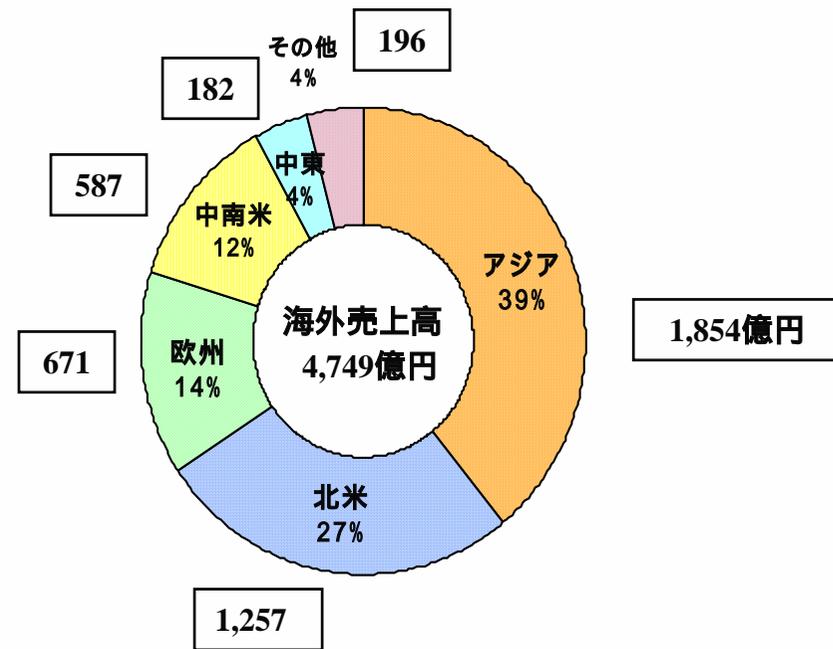


海外地域別連結売上高

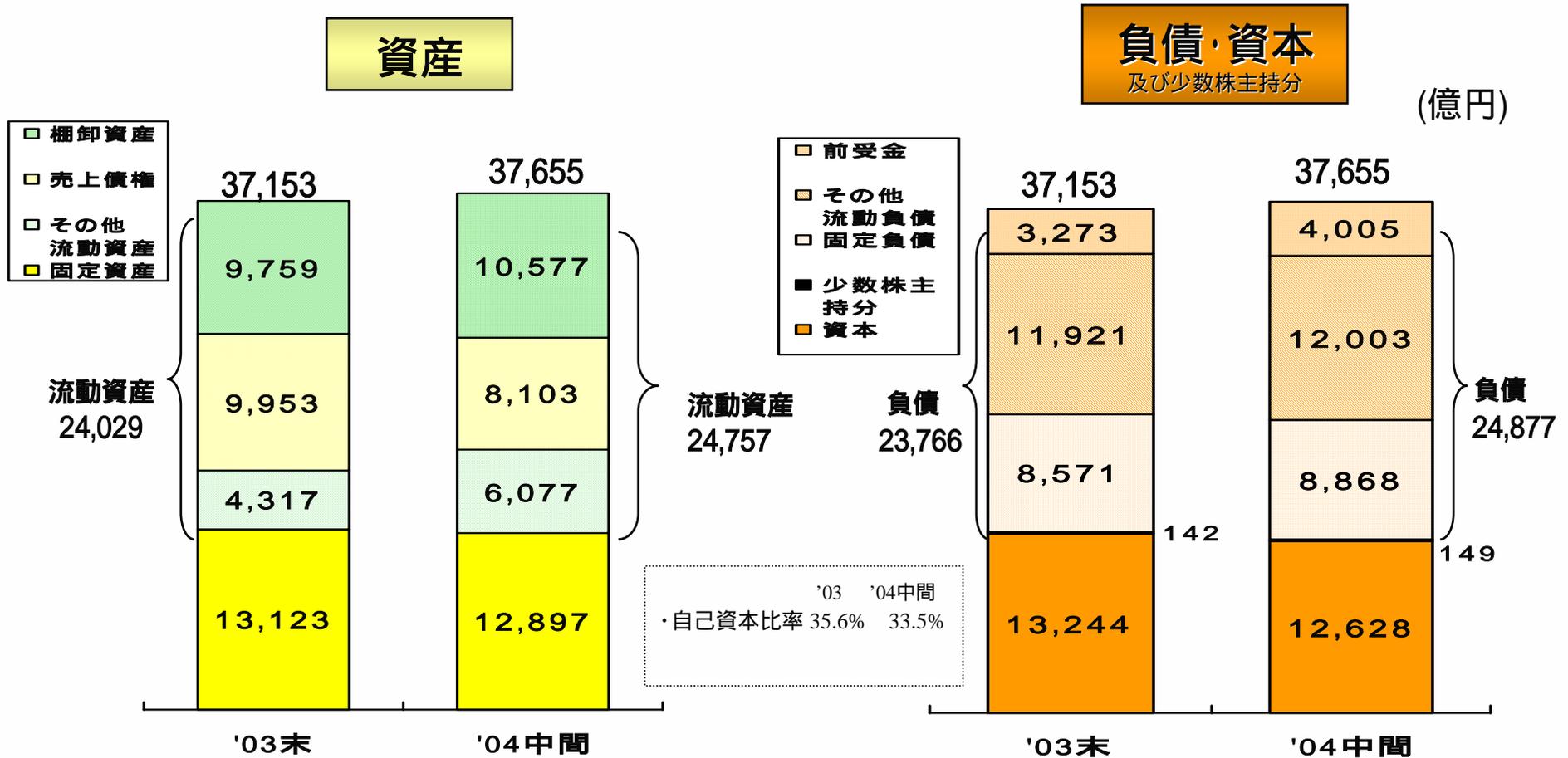
2003年度中間期実績



2004年度中間期実績



貸借対照表



資産増減(+501)

棚卸資産+817、売上債権 1849、有価証券 + 1336、現金預金+245、
 投資有価証券 75(三菱自動車優先株取得+400、時価評価額減少他 475)
 有形固定資産 86 他

負債増減(+1,110):

前受金+732、買入債務 461、有利子負債+1045、
 繰延税金負債(長期) 202 他

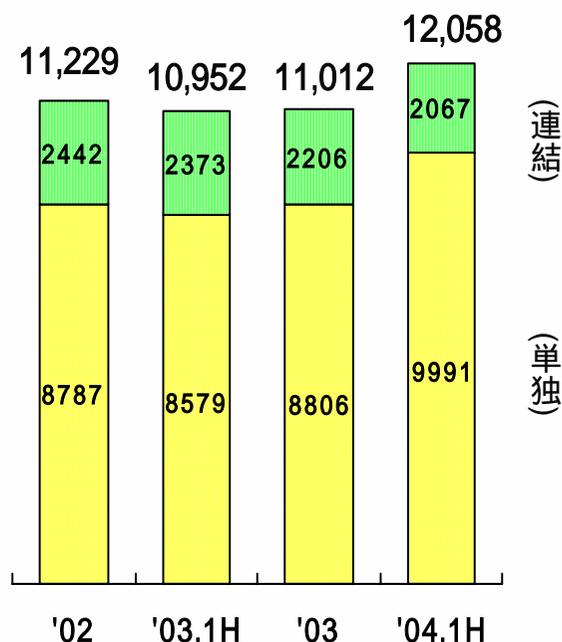
資本増減(616):

利益剰余金 321、評価差額金 273 他

有利子負債・キャッシュフロー

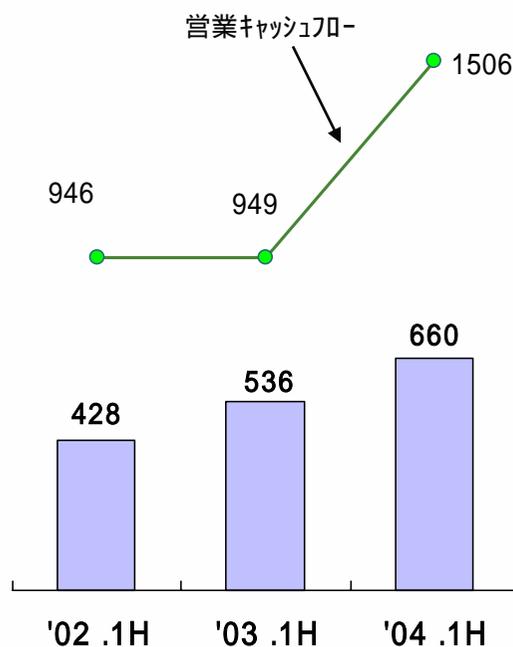
有利子負債

(億円)



フリーキャッシュフロー

(億円)



'04中間期の概要

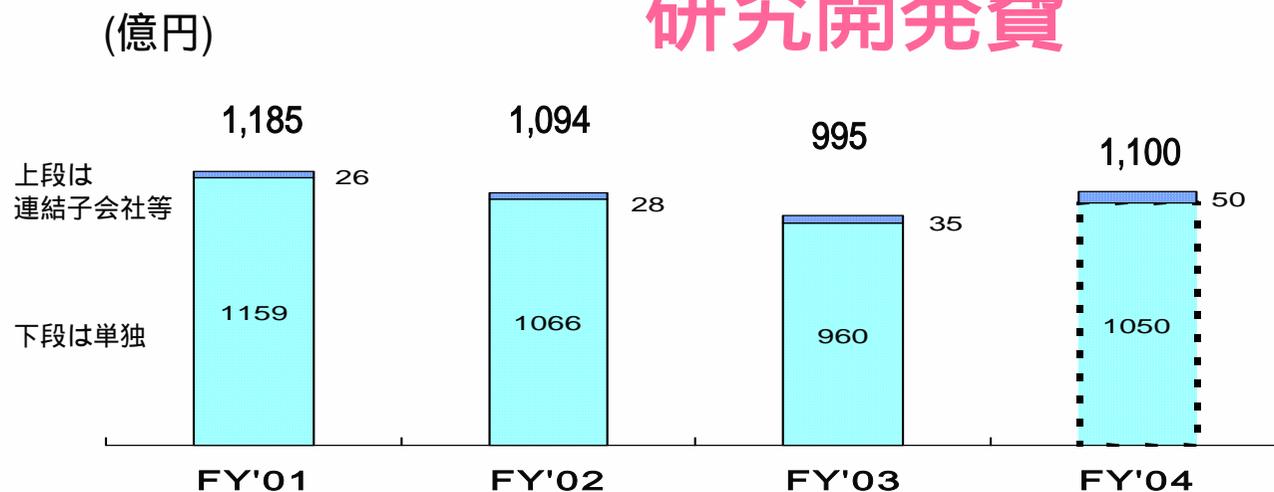
•営業キャッシュ・フローは営業収入の増加により、前年同期から557億円増加し、1,506億円となった。

•投資キャッシュ・フローは三菱自動車工業(株)の優先株式購入により前年同期から432億円支出が増加し、845億円となった。

•財務キャッシュ・フローは将来の資金需要に対し、前倒しして借入を行ったことにより、前年同期から1,358億円収入が増加し、916億円となった。

	'04中間	'03中間	増減
営業CF	1,506	949	557
投資CF	845	413	432
フリーCF	660	536	124
財務CF	916	441	1,358

研究開発費



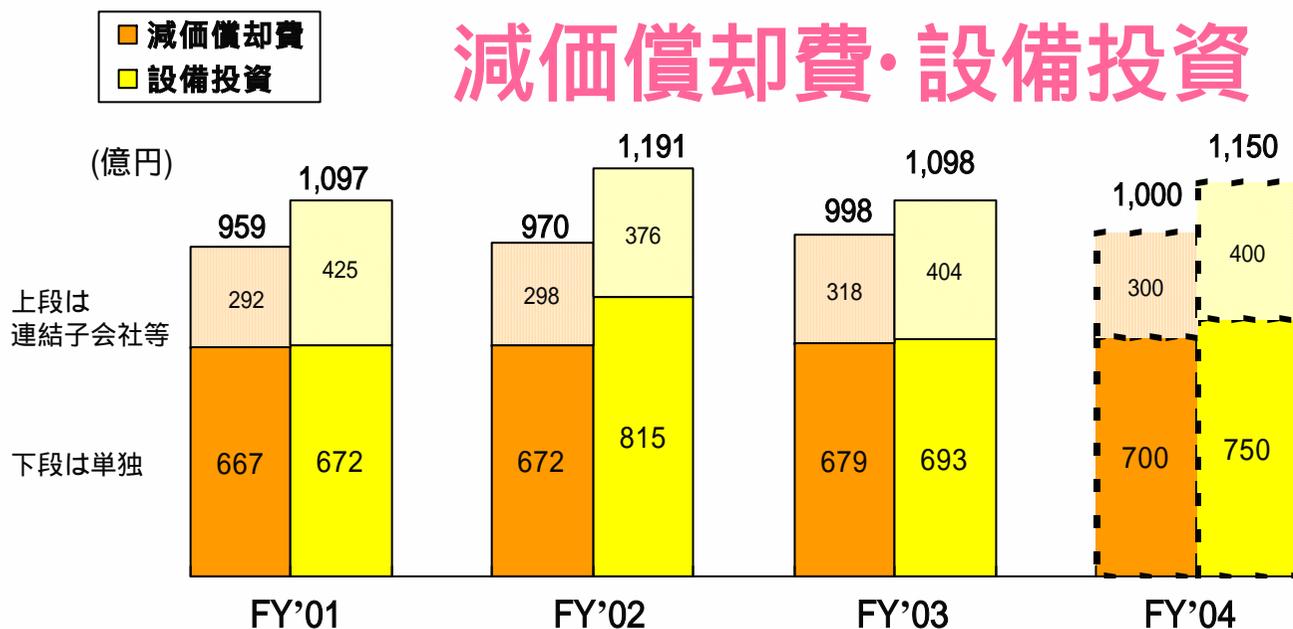
・主力分野を中心に効率的な研究開発投資を実施

・ボーイング7E7用複合材主翼・エンジン

・次世代ガスタービン

他

減価償却費・設備投資



・生産設備の拡充を中心に減価償却費を上回る設備投資継続

・民間機開発/生産用設備

・小型ターボチャージャー増産体制の整備

他

2004年度 単独中間決算の概要

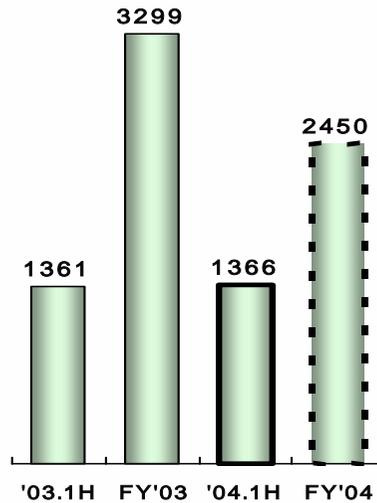
(億円)

	'04中間期	'03中間期	増減	増減率
受注高	8,508	10,019	1,511	15.1%
売上高	9,079	7,873	1,206	15.3%
営業損益	121	87	33	-
経常損益	129	238	108	-
特別損益	125	20	104	-
税引前損益	255	259	3	-
当期損益	173	168	4	-

船舶・海洋

(億円)

受注高



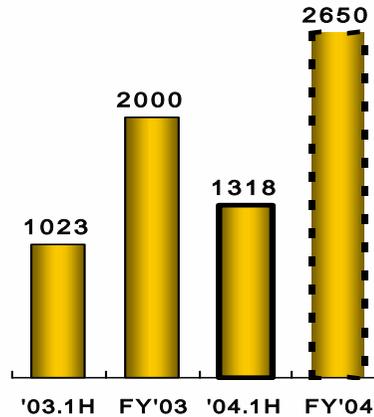
【輸出比率(単独)】

89.3% 77.7% 83.1%

【隻数(単独)】

16隻 38隻 10隻
(1141KGT) (2448KGT) (705KGT)

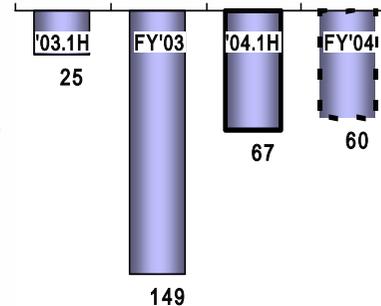
売上高



【引渡隻数(単独)】

8隻 21隻 12隻
(435KGT) (871KGT) (802KGT)

営業損益



【事業環境・受注】

- 海運市況は依然好調を維持。
- 中間期はLNG船6隻、自動車運搬船3隻、他1隻の計10隻を受注
(新造船契約残 63隻、内 LNG船 10隻)

【売上/損益】

- 中間期は、国内船売上等の増加により大幅増収となったが、需要低迷期に受注した売上が中心のため、為替の影響等もあり損益は前年同期を下回り赤字。

【トピックス】

- マレーシア向けLNG船 5隻を受注
- 人員削減等固定費圧縮を継続
(事業人員)5,160 4,940 4,810 4,710人
(02/4) (03/4) (04/4) (05/4予定)

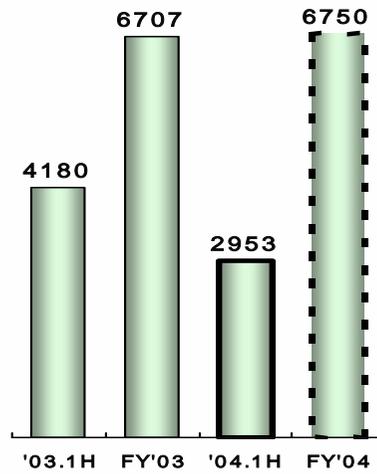
< 通期業績見通し:受注/売上/損益 >

FY'04見通し: 2450 / 2650 / 60
(期初 2450 / 2650 / 60)
FY'03実績 : 3299 / 2000 / 149

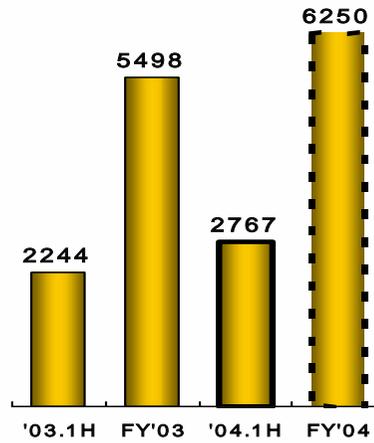
原動機

(億円)

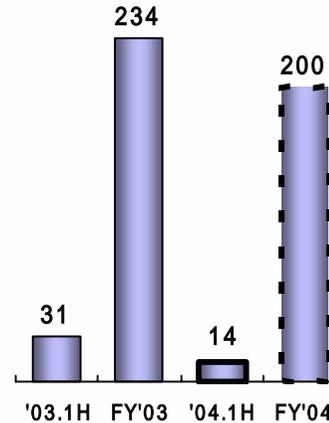
受注高



売上高



営業損益



(ガスタービン契約残台数 (単独))

55台 54台 56台

[事業環境・受注]

- 国内は、電力関連の設備投資抑制が続き依然、事業環境は厳しい。
- 海外は、アジア・欧州の需要が堅調に推移。

[売上/損益]

- 中間期は、火力発電プラント工事の売上増加等により前年同期に比べて増収。
- 損益は為替の影響等もあり、前年同期を下回ったものの、昨年来の好調な受注による売上増加、改良サービス工事拡販・コスト低減等の各種施策により、年度見通しではほぼ前年度に近い損益となる見込み。

[トピックス]

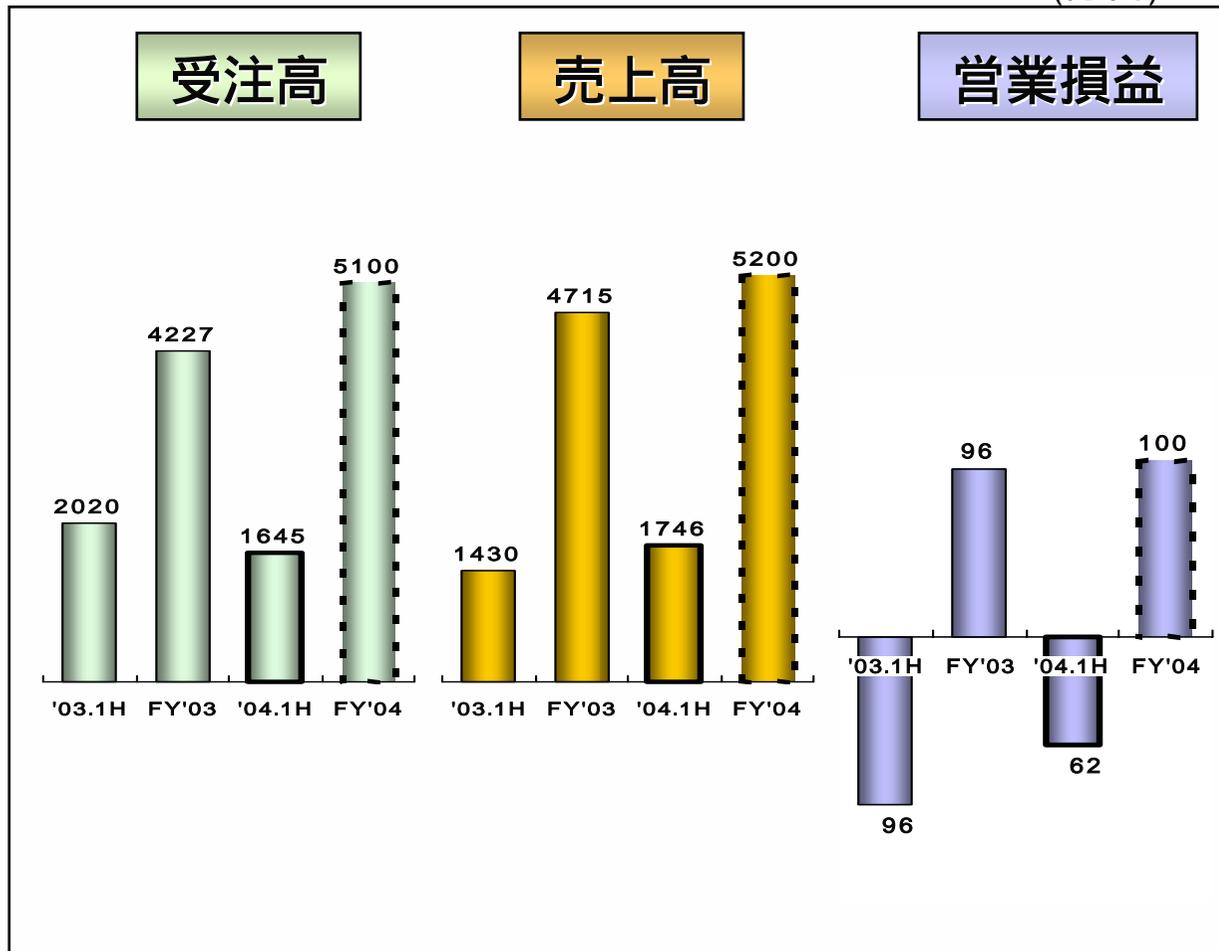
- 中国・メキシコ・ニュージーランド等でガスタービンコンバインドサイクルプラントを受注
- 国内最大の風力発電設備の実証試験を推進(横浜)

< 通期業績見通し: 受注 / 売上 / 損益 >

FY'04見通し: 6750 / 6250 / 200
 (期初 6750 / 6250 / 200)
 FY'03実績 : 6707 / 5498 / 234

機械・鉄構

(億円)



[事業環境・受注]

- 国内は公共投資縮減が継続。海外は交通システム、化学プラント、LNGタンク等の商談が活発化。
- 中間期は、交通システム、化学プラント等の受注が増加するも、環境装置で東京都PCB処理設備を受注した前年同期と比べて減少。

[売上/損益]

- 中間期は、台湾新幹線の工事進捗に伴う売上増により、前年同期比で増収。
- 上半期は下半期に比べて売上が少ないため固定費回収不足により損益は赤字となったが活発化している輸出案件の受注確保、コスト競争力強化を推進しており、年度の売上・損益は前年同期を上回る見込み。

[トピックス]

- オマーン向けで初の大規模な肥料製造プラントを内定
- 中東地区で初導入となるドバイ国際空港向APMを受注

< 通期業績見通し: 受注 / 売上 / 損益 >

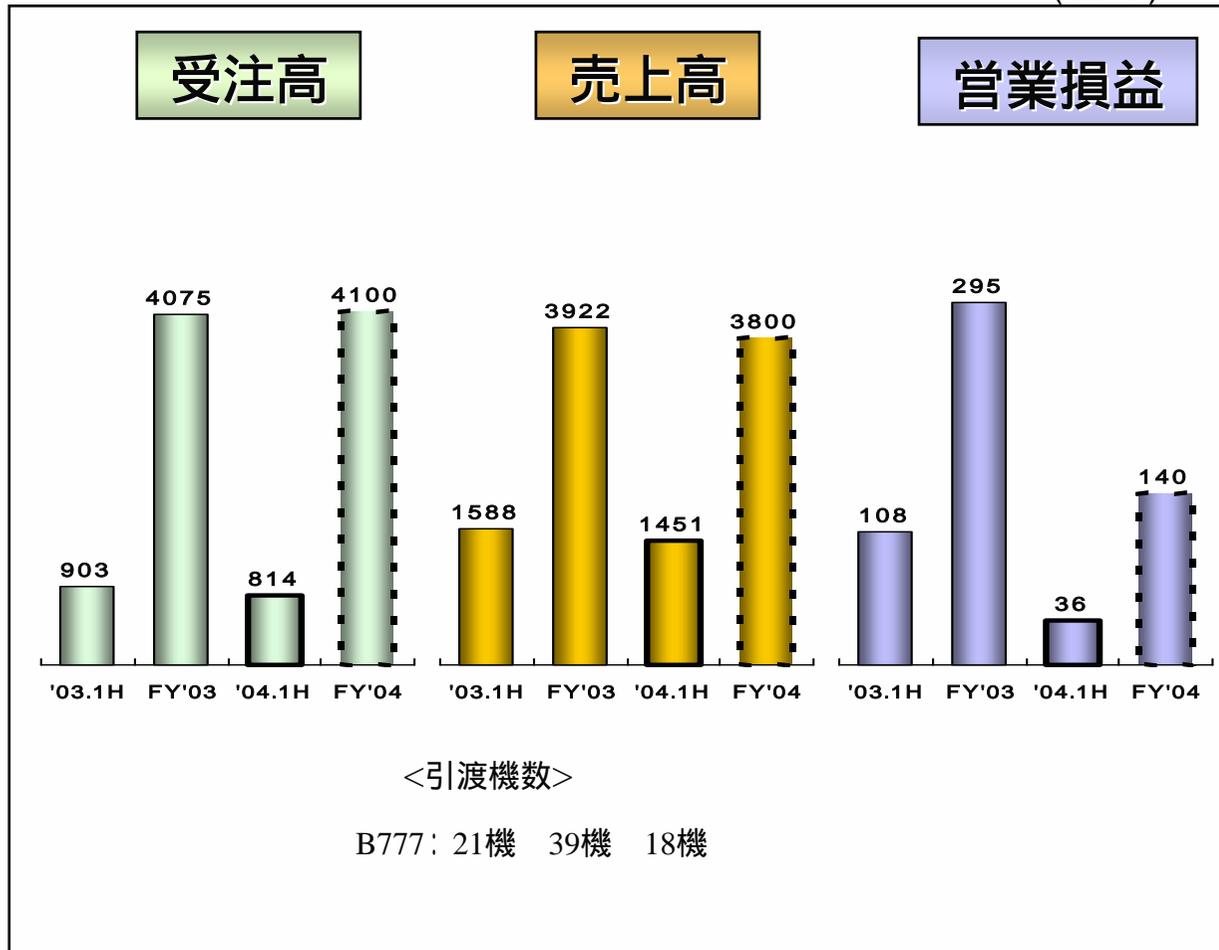
FY'04見通し: 5100 / 5200 / 100

(期初 5100 / 5200 / 100)

FY'03実績 : 4227 / 4715 / 96

航空・宇宙

(億円)



[事業環境・受注]

- 防衛関係の在来型装備は、規模縮小の方向であるが、BMDシステムの整備等により正面装備予算は増加。
- 民間機関係は航空旅客需要が回復の兆し。

[売上/損益]

- 中間期は、民間機関係でビジネスジェット機グローバルエクスプレス等の引渡機数が増加した一方、哨戒ヘリコプタ及びH Aの引渡機数減少の影響等により前年同期比で減収。
- 損益についても、売上減少と為替の影響に加え、B7E7の開発費負担増等により、前年同期比で減益。

[トピックス]

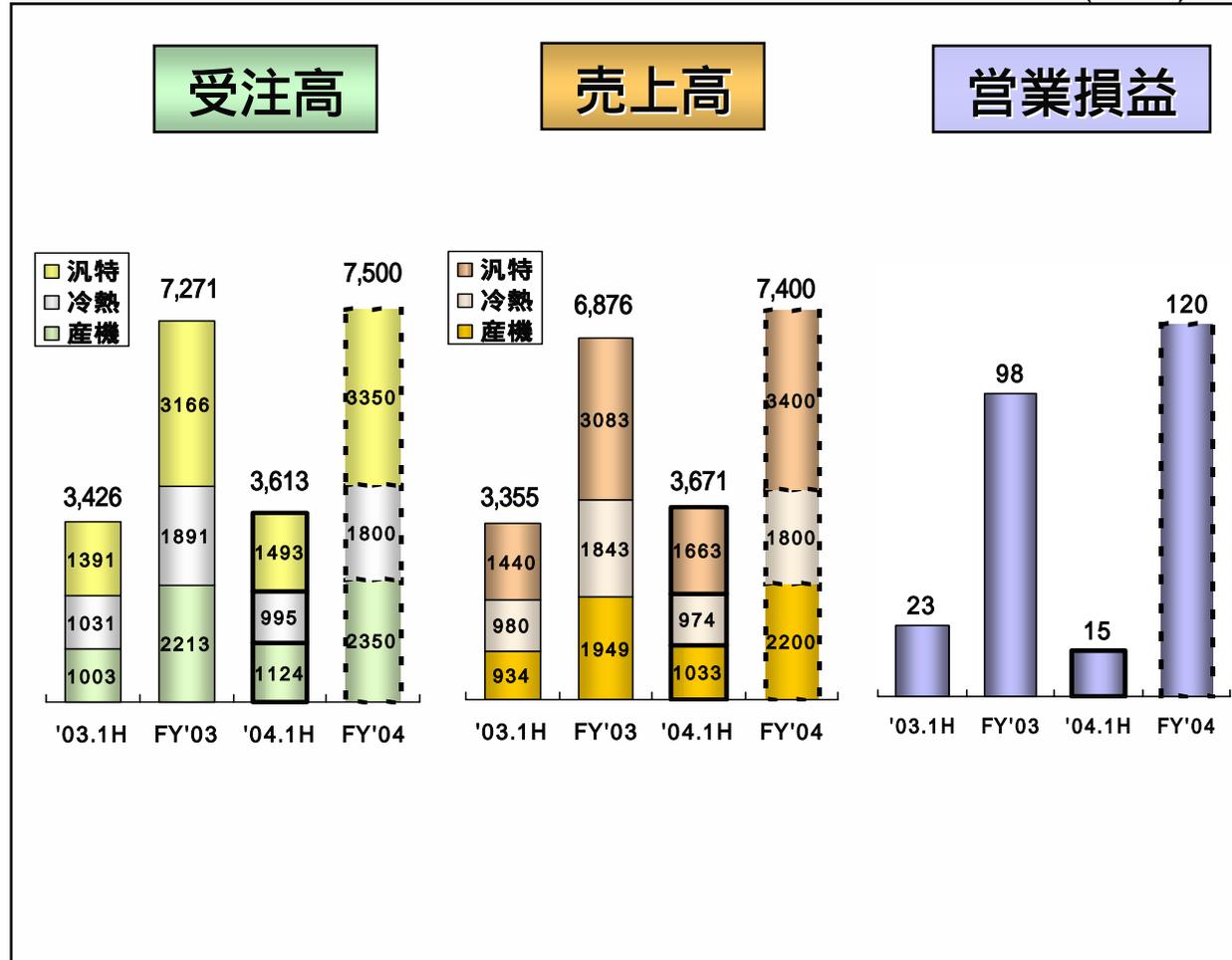
- B7E7用エンジンの共同開発へ参画。英国ロールス・ロイス社と契約締結(2004.9)
- B747の中央翼初号機を出荷(2004.8)

<通期業績見直し: 受注 / 売上 / 損益>

FY'04見直し: 4100 / 3800 / 140
(期初 4100 / 3800 / 140)
FY'03実績 : 4075 / 3922 / 295

中量産品

(億円)



[事業環境・受注]

- 海外は欧州、アジアを中心に需要旺盛。
- 国内も印刷機械や自動車関連の工作機械等が受注好調、部門全体で前年同期比増加。

[売上/損益]

- 中間期は、汎用エンジン、フォークリフトの国内・輸出の売上が増加、印刷機械も国内の売上が増加し部門全体で前年同期比増収。
- 損益は為替の影響等により、やや前年同期を下回ったが、好調な汎特、産機の売上増加並びに冷熱の採算改善等により、年間では前年度を上回る業績となる見込み。

[トピックス]

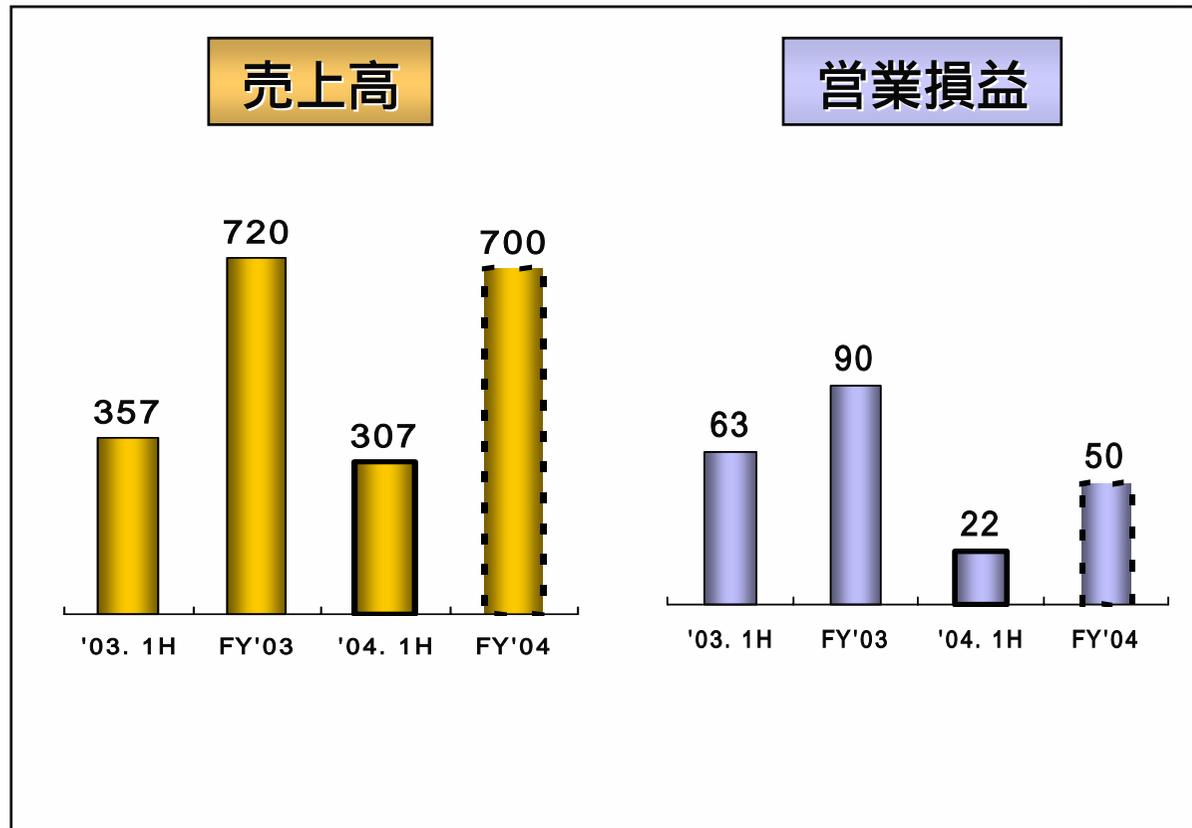
- 小型ターボチャージャーの生産能力増強。(年間 245万台 320万台体制)
- 世界最速(毎時18万部)の新聞オフセット輪転機を4セット受注。

< 通期業績見通し: 受注 / 売上 / 損益 >

FY'04見通し: 7500 / 7400 / 120
 (期初 7500 / 7400 / 120)
 FY'03実績 : 7271 / 6876 / 98

その他

(億円)



- ・建築・不動産
- ・情報・通信サービス
- 他

<通期業績見通し: 売上 / 損益>

FY'04見通し 700 / 50
(期初 700 / 50)

FY'03実績 720 / 90

2004年度 通期の業績見通し(連結)

(年度)

(単位:億円)

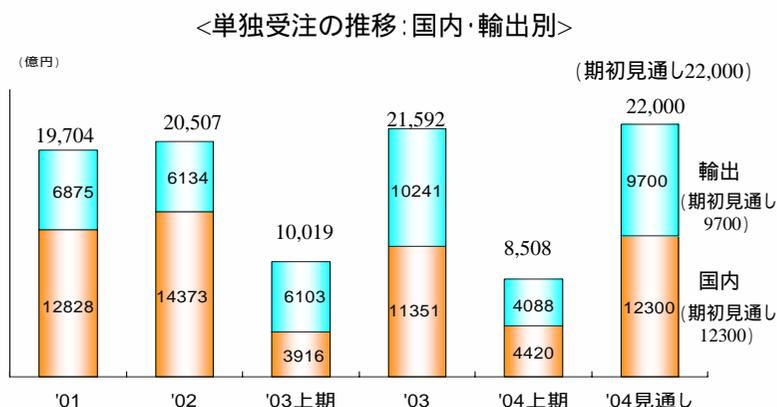
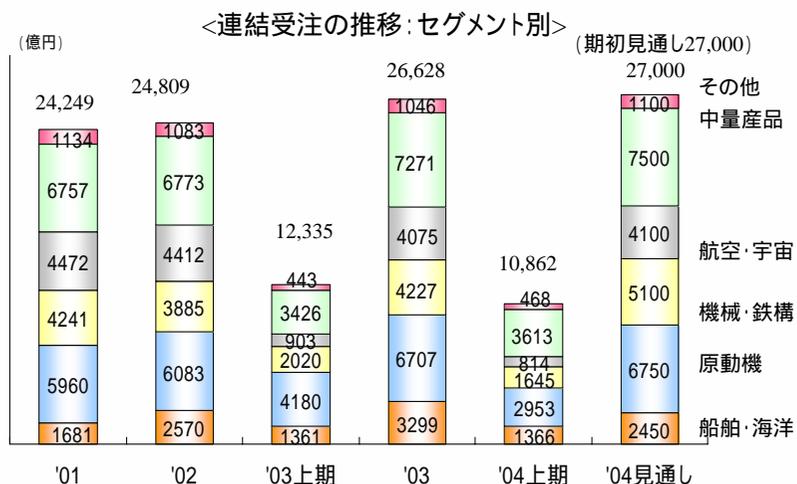
	'03	'04		
	実績	期初見通し	今回見通し	増減
受注高	26,628	27,000	27,000	-
売上高	23,734	26,000	26,000	-
営業損益	666	550	550	-
経常損益	297	370	370	-
税引前損益	501	370	370	-
当年度損益	217	220	220	-

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみにより、これら業績見通しと大きく異なる結果となり得ることを御承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

2004年度見通し(受注)

(億円)

	'01	'02	'03上期 実績	'03	'04上期 実績	'04 見通し
連結	24,249	24,809	12,335	26,628	10,862	27,000
単独	19,704	20,507	10,019	21,592	8,508	22,000
(うち輸出)	(6,875)	(6,134)	(6,103)	(10,241)	(4,088)	(9,700)



上期の総括

大型受注が相次いだ前年同期対比では減少するも
依然高水準で順調に推移

【受注品】得意機種で海外商談攻略(LNG船、GTCC、APM等)

【中量産品】新製品投入・専業販社体制効果を発揮
(エンジン、フォークリフト、ターボ、印刷機械、工作機械等)

下期の展開

海外への積極展開の継続推進

- 船舶・海洋：
 - ・高付加価値船に注力(LNG船、大型コンテナ船等)
- 原動機：
 - ・アジア・欧米・中近東向GTCC(含むアフターサービス)等
 - ・国内向リプレース工事
- 機械・鉄構：
 - ・中近東向大型化学プラント
 - ・北米・中国・東南アジア向交通システム
- 航空・宇宙：
 - ・ボーイング7E7プロジェクト
- 中量産品：
 - ・新製品投入・専業販社体制効果の継続発揮
(エンジン、フォークリフト、ターボ、印刷機械、工作機械等)

2004年度見通し (売上・損益)

売上・損益 (連結)

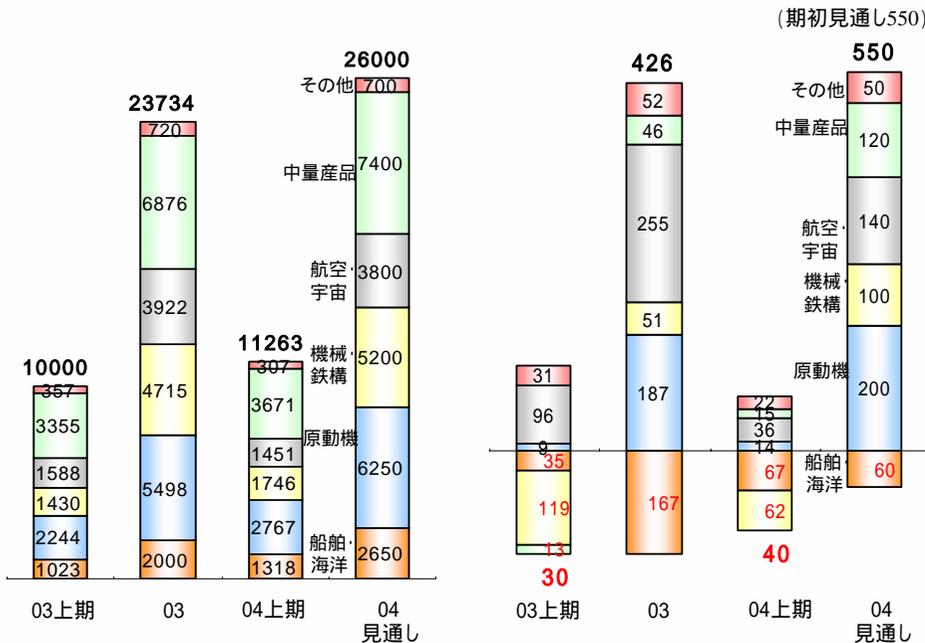
(億円)

		03		04	
		上期	年間	上期	年間見通し
売上		10,000	23,734	11,263	26,000
営業損益	通常分	30	426	40	550
	一時金影響額	135	240	0	0
	(計)	(105)	(666)	(40)	(550)
経常損益		94	297	65	370
税引前損益		114	501	253	370

< 連結売上の推移: セグメント別 >

< 連結営業損益の推移: セグメント別 >

- [除く一時金影響額ベース] -



重点項目

好調な受注で売上・利益拡大

(売上: '04/上期 1兆1263億円 '04/下期 1兆4737億円 [+3474億円])

- ・受注品 : 大型プロジェクトの着実な遂行
- ・中量産品: 高付加価値製品の継続的市場投入
- ・改良・サービス工事の拡販

生産・調達改革によるコスト低減

- ・業務プロセス改善・工法改善等による生産性向上
- ・ベストプラクティス活動の全社展開
- ・パートナー(資材取引先)との一体活動の促進
- ・グローバル最適調達の推進

B7E7 2大開発プロジェクト(主翼、エンジンの)
スピーディな立ち上げ

2004年度 通期の業績見通し(単独)

(年度)

(単位:億円)

	'03	'04		
	実績	期初見通し	見通し	増減
受注高	21,592	22,000	22,000	-
売上高	19,401	21,500	21,500	-
営業損益	352	360	360	-
経常損益	75	200	200	-
税引前損益	237	200	200	-
当年度損益	52	100	100	-
一株当たり 配当金	3 円	0 円	0 円	
中間配当金 年間配当金	6 円	4 円	4 円	

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことは控えるようお願い致します。実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることを御承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。